

平成 30 年 度

健全化判断比率

及び資金不足比率

審査意見書

十和田市監査委員

十 市 監 委 第 55 号  
令 和 元 年 8 月 7 日

十和田市長 小 山 田 久 様

十和田市監査委員 高 岡 和 人

十和田市監査委員 山 本 秀 典

平成 30 年度健全化判断比率及び資金不足比率  
審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び第 22 条  
第 1 項の規定に基づき審査に付された平成 30 年度健全化判断比率及び  
資金不足比率を審査した結果、次のとおり意見を提出します。

# 目 次

平成 30 年度健全化判断比率審査意見書 .....	1
平成 30 年度十和田市水道事業会計 資金不足比率審査意見書 .....	3
平成 30 年度十和田市下水道事業会計 資金不足比率審査意見書 .....	4
平成 30 年度十和田市病院事業会計 資金不足比率審査意見書 .....	5
平成 30 年度十和田市温泉事業特別会計 資金不足比率審査意見書 .....	6

# 平成 30 年度健全化判断比率審査意見書

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率（以下「健全化判断比率」という。）並びにその算定の基礎となる事項を記載した書類

### (2) 審査の期間

令和元年 7 月 17 日から令和元年 8 月 7 日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、市長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 2 審査の結果及び意見

### (1) 審査の結果

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

比 率 名	健全化判断比率		早期健全化基準	
	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 29 年度
実 質 赤 字 比 率	—	—	12.59 %	12.59 %
連 結 実 質 赤 字 比 率	—	—	17.59 %	17.59 %
実 質 公 債 費 比 率	9.3 %	10.2 %	25.0 %	25.0 %
将 来 負 担 比 率	—	—	350.0 %	350.0 %

備考 実質赤字比率及び連結実質赤字比率の欄の「—」は、実質赤字額及び連結実質赤字額がないことを表している。

## (2) 審査の意見

### ① 実質赤字比率について

平成 30 年度における実質収支額は黒字となっており、早期健全化基準の 12.59%を下回っていることから財政運営は良好な状況であると認められる。

### ② 連結実質赤字比率について

平成 30 年度における連結実質収支額は黒字となっており、早期健全化基準の 17.59%を下回っていることから財政運営は良好な状況であると認められる。

しかし、病院事業においては、引き続き実質赤字額が続いていることから、今後も早期健全化基準を上回らないよう財政運営を行っていただきたい。

### ③ 実質公債費比率について

平成 30 年度における実質公債費比率は、前年度より 0.9 ポイント低下し 9.3%となっており、早期健全化基準の 25.0%を下回っていることから財政運営は良好な状況であると認められる。

### ④ 将来負担比率について

平成 30 年度における将来負担比率は、今年度は実質的な負債がないため、早期健全化基準の 350.0%を下回っていることから財政運営は良好な状況であると認められる。今後も、将来負担を勘案した健全な財政運営に努められるよう望むものである。

# 平成 30 年度十和田市水道事業会計 資金不足比率審査意見書

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

### (2) 審査の期間

令和元年 7 月 17 日から令和元年 8 月 7 日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 2 審査の結果及び意見

### (1) 審査の結果

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

比 率 名	平成 30 年度	平成 29 年度	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20.0 %

備考 表中の「—」は、資金の不足額がないことを表している。

### (2) 審査の意見

平成 30 年度の資金不足比率は、平成 29 年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。

# 平成 30 年度十和田市下水道事業会計 資金不足比率審査意見書

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

### (2) 審査の期間

令和元年 7 月 17 日から令和元年 8 月 7 日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 2 審査の結果及び意見

### (1) 審査の結果

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

比 率 名	平成 30 年度	平成 29 年度	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20.0 %

備考 表中の「—」は、資金の不足額がないことを表している。

### (2) 審査の意見

平成 30 年度の資金不足比率は、平成 29 年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。

# 平成 30 年度十和田市病院事業会計 資金不足比率審査意見書

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

### (2) 審査の期間

令和元年 7 月 17 日から令和元年 8 月 7 日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 2 審査の結果及び意見

### (1) 審査の結果

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

比 率 名	平成 30 年度	平成 29 年度	経営健全化基準
資金不足比率	1.6 %	3.6 %	20.0 %

### (2) 審査の意見

平成 30 年度の資金不足比率は、前年度より 2.0 ポイント低下し 1.6%となっている。これは、経営健全化基準の 20.0%未満であるが、資金不足解消に向け、より一層経営の健全化に努めていただきたい。



# 平成 30 年度十和田市温泉事業特別会計 資金不足比率審査意見書

## 1 審査の概要

### (1) 審査の対象

資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

### (2) 審査の期間

令和元年 7 月 17 日から令和元年 8 月 7 日まで

### (3) 審査の方法

この審査に当たっては、市長から提出された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

## 2 審査の結果及び意見

### (1) 審査の結果

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されているものと認められる。

比 率 名	平成 30 年度	平成 29 年度	経営健全化基準
資金不足比率	—	—	20.0 %

備考 表中の「—」は、資金の不足額がないことを表している。

### (2) 審査の意見

平成 30 年度の資金不足比率は、平成 29 年度と同様、実質収支額が黒字であるため発生していない。